

平成30年度 基本事業評価シート（平成29年度実績評価）

政策 04 快適に暮らせるまち
施策 04 上下水道事業の安定持続
基本事業 02 汚水の安定処理
主管課： 上下水道課
関係課： 生活環境課

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民	意図（どのような状態にしたいのか） 安定的に汚水排水を処理する。
------------------------	-------------------------------------

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

浄化センター・中継ポンプ場の事故件数（故障等による運転停止時間1時間以上の件数）（年間）（件）上下水道課					
基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値（H33）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針	下がると良い	（状況）昨年度同様、浄化センターや中継ポンプ場の事故が発生することなく、安定した汚水処理を行っています。 （原因）浄化センターや中継ポンプ場の運転管理等を民間事業者に包括的に委託し、日常管理を適切に行っているためだと考えられます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

下水道管路施設の事故件数（マンホール及び公共桝からの汚水溢水件数）（年間）（件）上下水道課					
基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値（H33）
4.00	4.00	6.00	3.00	0.00	3.00
向上指針	下がると良い	（状況）下水道管路施設からの汚水溢水件数は昨年度より2件増加しましたが、包括的管理委託による管渠清掃により即日復旧し、適切に維持管理を行っています。 （原因）溢水の内訳は公共汚水桝閉塞が4件、飲食店の油脂による本管閉塞が1件、プール排水による溢水が1件でした。排除水質基準を超える事業所への定期的な改善指導や包括的管理委託による管渠清掃の効果は認められますが、宅地植栽の影響による公共汚水桝の溢水が多いため、ホームページ等による宅内汚水桝管理の注意喚起を継続し、適切な汚水排水を実施します。			
対前年度	低下				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値（H33）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値（H33）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値（H33）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H27年度 決 算	H28年度 決 算	H29年度 決 算	H30年度 予 算	H31年度 見 込
事業費合計	946,809	1,148,617	637,305	789,440	842,284
人件費	0	18,216	24,186	0	0
トータルコスト	946,809	1,166,833	661,491	789,440	842,284

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

今年度は老朽化対策として、浄化センターの中央監視制御設備改築更新工事（H30に繰越）と、今年度から2箇年で破損した下水道管布設替工事を実施しています。包括的民間委託による浄化センター等の運転管理等により適切な維持管理を行いトラブルの回避に努めました。 老朽化下水道施設の更新は費用と時間を要することが課題であり、今年度からストックマネジメントや経営戦略の策定に着手し、次年度にはこれらの計画策定を完了し、投資費用と財源のバランスを図った事業を進めていきます。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]